

# 地域資源を活用した 那須烏山市中山間地域の活性化方策の検討

足利工業大学 工学部 都市環境工学科  
福島研究室(土木史研究室)  
田島義也 若林 薫

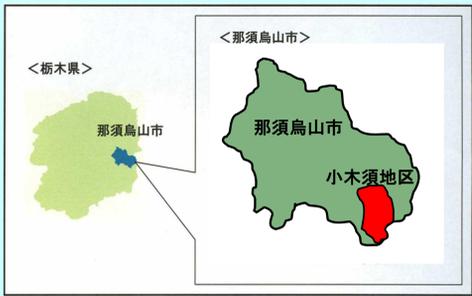
## 1 はじめに

地方都市では、若年層の都市圏への流出に伴い、地域の活力が低下している。特に中山間地域では、過疎化と高齢化が進行し休耕地の拡大、学校の廃統合による校舎跡地などの未利用公共施設の問題が生じている。栃木県那須烏山市小木須地区もまた同様な問題を抱えた中山間地域である。そこで本研究では、中山間地域の一例として小木須地区を対象に、地域活性化方策の検討を目的とした。具体的には、未利用公共施設の活用手法の検討、および都市との交流の仕組みづくりについての検討を行った。

## 2 小木須地区の概要

### (1)位置

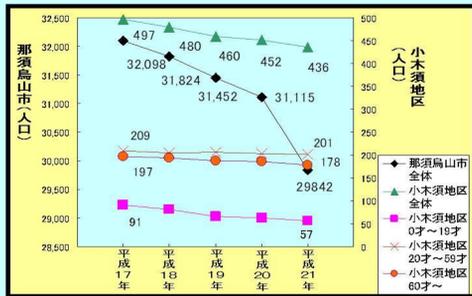
那須烏山市は栃木県の東部に位置しており、小木須地区は市の南東部に位置している。



小木須地区の位置

### (2)人口の推移

那須烏山市は、4年間で約1600人、そのうち小木須地区では約60人減少している。



那須烏山市および小木須地区の人口推移

### (3)小木須地区の未利用公共施設

平成21年4月現在、小木須地区内の未利用公共施設は、「那須烏山市立東小学校」(平成20年3月閉校)、「小木須児童館」(平成19年3月閉館)、「わらび荘」(平成21年1月閉館)、および「国見公民館」(閉館してはいないが常時使われていない)の4施設がある。



旧小木須児童館 旧わらび荘 国見公民館 旧東小学校

## 3 全国における廃校施設の活用事例調査とその結果

未利用公共施設の活用事例を調べるため、全国の廃校を活用した施設を対象にアンケート調査を行った。活用の内容を、「福祉施設」「体験型宿泊施設」「学習施設」「資料館」「宿泊施設」の5つに分類し、40施設を抽出し依頼したところ、15件の回答があった。これを基に、成功事例および失敗事例として整理した。

## 4 地域活性化についての検討

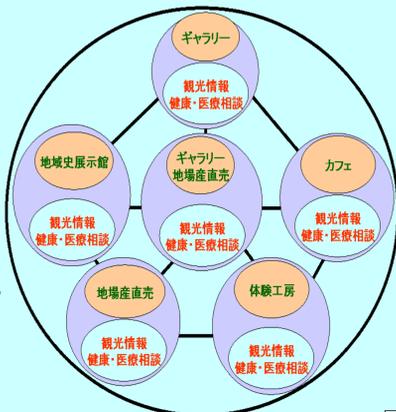
(1)第1回ワークショップを開催し、地域資源を抽出した。  
(日時:8月20日、場所:木須の郷交流館、参加者:23名)

歴史・文化	神社・仏閣	湯殿山神社、星宮神社、宝蔵寺、洞観音、愛宕山神社、五社明神、熊野山神社、二十三夜塔、子育て地蔵尊
	民話	千足峠のお話、雛鶴の舞、加熊の力石、弘法水、北向き地蔵さま、ふしぎな夜道、花立峠の由来
農業		みかん、ゆず、ソバ、酪農
自然		国見の棚田、山菜、花立峠憩いの森公園、楮の木、湯の入り温泉、山林

(2)第2回ワークショップを開催し、活性化に向けた具体案を提示し、それに対する地元住民の意見の集約を行った。  
(日時:11月28日、場所:木須の郷交流館、参加者:10名)

## 5 地域資源と未利用公共施設の活用方策の具体案

那須烏山市全体の未利用公共施設や空き店舗の活用を目的として、「情報共有・多機能ネットワークシステム」の構築を基本方針とした。その内容は全ての施設が担う機能として、「観光情報」「健康医療相談」、地区の実情に応じた機能として、「ギャラリー」「体験学習」などの機能を、逐次加えることとした。

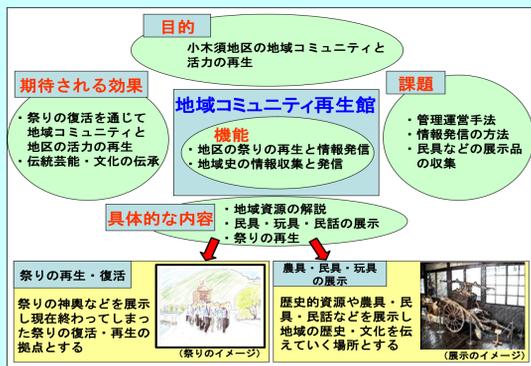


ネットワークの概念図

### (2)具体案の作成

第2回ワークショップと基本方針を踏まえ、小木須地区では、地区の実情から、地域資源の新たな活用を目指し、エコを視点とした「地域固有の体験・学習」と「地域文化継承の取り組み」をコンセプトとし、旧小木須児童館を『地域コミュニティ再生館』、旧わらび荘を『エコ体験工房』として活用する。

提示案	提示案	意見の集約
<b>①名称</b> 地域コミュニティ再生館 <b>②目的</b> ・小木須地区の地域コミュニティと活力の再生 <b>③施設の機能</b> ・地区の祭りの再生と情報発信 ・地域史の情報収集と発信 <b>④具体的内容</b> ・地域資源の解説・展示 ・民具・玩具・民話の展示 ・祭りの再生	<b>①名称</b> エコ体験工房 <b>②目的</b> 地域固有の資源を活用した体験&宿泊 <b>③施設機能</b> ・小木須地区に特化したエコを視点とした体験 ・学習機能 ・宿泊機能	<b>①祭りの再生復活について</b> ・賛成です。これを起点に昔あった他の祭りも復活させてほしい。 ・賛成ではあるが、人口減少が続く当地において長続きするか疑問。 <b>②昔使われていた民具の展示について</b> ・展示をして子供たちに昔の生活文化の勉強も必要な時代に来ている。 <b>③体験工房としての活用方向について</b> ・利用する者が予測できるかという問題。 ・旧わらび荘の宿泊施設を都市部の子供達との交流や様々な体験学習の場として使ってほしい。



地域コミュニティ再生館の概念図



エコ体験工房の具体案の概念図

## 6 まとめ

- (1)未利用公共施設と地域資源を活用し、地域のコミュニティの再生と都市との交流による地域の賑わいの創出のための計画案を作成した。
- (2)「地域コミュニティ再生館」では、祭りの復活を通じて地区の活力の再生・地域文化の継承と再生、「エコ体験工房」では、地域固有の生活文化の新たな発見、都市との交流機会の創出と増幅を狙いとしている。
- (3)実際にプログラムを運営する役割を担う地域住民、また、広報活動や活動をサポートする役割の行政の連携が重要であり、さらに、第三者の目として、例えば大学等の関与も必要ではないかと考えている。